



中学校部会会報

全日本音楽教育研究会

平成28年9月20日発行 通算第72号

会長あいさつ



全日本音楽教育研究会中学校部会長
風見 章 (杉並区立泉南中学校長)

まずは、今年4月に発生した九州地方の地震では多くの被害が出ました。被害に遭われた方々へ心よりお見舞い申し上げます。

さて、今年度でご退職された前中学校部会長、菊本和仁先生の後任として中学校部会長の大役を引き受けさせて頂きました。全国の支部長・事務局長先生方には、長く務めさせて頂いた中学校事務局長時代大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。微力ではありますが、本部会の発展に力を尽くして参ります。どうか、ご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

さて、平成27年度の全事業は全国各支部のご協力の下、無事に終えることが出来ました。本当にありがとうございます。また、昨年度の全国大会・静岡大会前日に開催された本部全国理事会において、平成32年度からの全国大会開催地輪番制が正式に決定し、全日音研として新しいステージに入りました。各支部におかれましては、音楽科組織構成の変化や音楽科管理職の減少という様々なご事情がある中、ご理解を賜りました。心より感謝申し上げます。私たちは、本部事務局と共に円滑な全国大会が開催されるよう努力して参ります。どうかよろしくお願いいたします。

また、6月24日(金)江東区文化センターで開催された中学校部会全国理事会には多くの支部長先生や代理の先生方がお忙しい中ご出席くださいました。その中で、各支部の情報交換もなされましたが、各支部の運営において様々なご苦労があることがわかりました。どうか、全国各地区の情報共有して、自地区の運営に役立てて頂ければ幸いです。

今年度の全国大会は北海道において「函館・道南大会」が11月1日(火)・2日(水)に開催されます。かつて、平成23年度に札幌で全国大会が開催されましたが、その時に北海道音楽教育連盟のまとまりをしっかりと感じた記憶は今でも鮮明に残っています。今年度の全国大会函館・道南大会でも全国の皆様と一緒に大成功に終わられるよう私たちも尽力して参ります。

それでは、本部会の活動に対して、今まで以上に全国各支部のご理解とご協力を賜れますよう、よろしくお願いいたします。

Contents

- P1 会長あいさつ 全日音研会長 風見 章
- P2 事務局長あいさつ 事務局長 荒川 徳子 / 全国理事会
- P3 研修会：授業実践研究発表「構成を工夫した音楽をつくろう」
静岡市立安東中学校 教諭 佐藤 美和子先生
講演 「今後の中学校音楽科について」
奈良教育大学 教授 理事・副学長 宮下 俊也先生
- P4 函館・道南大会《小中学校部会・高等学校部会大会》の概要
大会案内・Information

発行

全日本音楽教育研究会 中学校部会

東京都杉並区堀ノ内 1-3-1

杉並区立泉南中学校内

会長 風見 章

これからの音楽教育のために



事務局長 荒川 徳子
(清瀬市立清瀬第二中学校長)

今年度も後半に入りました。今年4月14日に発生した熊本地震では、多くの方が犠牲になられ、大きな被害が出ました。地震発生から1ヶ月経ってから熊本県の事務局長先生にご連絡いたしました。学校の様子を伺ったところ「今日は、今年度初めて授業を行いました。生徒たちの元気な歌声に心癒され、元気をもらいました。子ども達も久しぶりに、仲間と共に精一杯声を出すことができ楽しそうでした。これからも生徒達と一步一步しっかりと歩んでいきたいと思えます。応援よろしく願いいたします。」というお返事をいただきました。改めて音楽の力を再確認するとともに、一日も早い復興を願わずにはられません。

中学校部会事務局長として2年目に入りました。全国各支部にご連絡をとらせていただいておりますが、支部長先生を始めそれぞれ皆様お忙しい中、本研究会のためにご尽力を賜っている様子に心より感謝申し上げます。

さて、中学校部会の全国理事会が6月24日(金)、東京都江東区文化センターにて開催されました。今年度は25支部の支部長先生に出席していただきました。理事会では風見章新部会長が満場一致で承認されました。その後群馬県支部長の飯塚仁先生と島根県支部長の水間満先生の議事進行のもと、平成27年度事業報告、会計報告、監査報告の審議を行い、承認を得ました。続いて平成28年度の事業計画、予算案の審議も行いましたが、全て承認を得ることができました。議事終了後、情報交換も行いました。各支部の活動の様子や抱えている課題を共有することができました。この情報交換は貴重な時間となっています。

理事会終了後の研修会では、静岡市立安東中学校の佐藤美和子先生の授業実践研究発表のあと、奈良教育大学教授の宮下俊也先生に「今後の中学校音楽科について」という演題でご講演いただきました。本当にありがとうございました。

今年度の全国大会函館・道南大会が11月1日(火)・2日(水)に開催されます。本部事務局長と他校種の部会長、事務局長と共に北海道を訪問し全国大会へのご理解とご協力をお願いいたしました。大会実行委員長の金谷美也子先生を始め、実行委員の先生方への大会にかける熱い思いを感じました。函館は以前より市民によるオペラを上演されています。中学生によるオペラも、そんな文化から学び、函館の実践の一つとして、古くからいろいろな形式で発表されているというお話をお聞きしました。

函館・道南地区の先生方は日々の校務をこなしながら、全国大会成功に向けて、着々と準備を進めていらっしゃいます。どうぞ、11月1日(火)・2日(水)の全国大会函館・道南大会には全国から多くの先生方が参加され、大会を盛り上げていただきたく、お願い申し上げます。

◆ 全国理事会 ◆

日時 : 平成28年6月24日(金) 13:00~14:50
会場 : 江東区文化センター 会議室
司会 : 事務局次長 佐藤 隆弘



理事会は、甲川登茂子副会長の開会の言葉で始まった。始めに菊本和仁部会長より退任の挨拶があり、昨年度まで副会長だった風見章先生が部会長として承認された。続いて風見章新部会長より、「各都道府県支部から情報を発信し連絡を取り合い、全日本音楽研究会中学校部会としてさらに活動を活性化させていきたい」という力強い挨拶があった。

議事に入り、議長に選出された群馬県の飯塚仁支部長と島根県の水間満支部長の進行により、平成27年度事業報告、会計報告、会計監査報告、平成28年度役員・理事の紹介、活動方針と事業計画、予算、表彰者等の審議が行われ、すべて承認された。その後、角康宏調査研究部長より昨年度の調査研究報告と今年度の調査研究の目的、内容、方法についての説明、寺尾会計部長より今年度の会費についての説明があった。

続いて各支部の情報交換が行われ、大会案内や重点的な取り組み、研究、研修、学習指導要領改訂を見据えた取り組み等が各支部長より熱く語られた。最後に、北海道支部長より平成28年度函館・道南大会の紹介があり、木村一也副会長の閉会の言葉で終了した。

◆ 研修会 ◆ 第1部 授業実践研究発表 「構成を工夫した音楽をつくろう」

静岡市立安東中学校 教諭 佐藤 美和子 先生



静岡県中学校部会のテーマ「つなげよう ひろがる思いと わたしの音楽」を受けて、以下の視点で研究を行った。

- ①連続性・系統性を踏まえた授業構想：小学校での学習内容を生かして創作活動を行う。
- ②言語活動を適切に取り入れた音楽活動：グループで思いや意図を共有し、表現方法について話し合わせる。
- ③指導と評価：目指す生徒像を想定して評価規準を設定し、表現を工夫する姿を拾って評価していく。

本題材「構成を工夫した音楽をつくろう」は、「船が近づいてきて、目の前を通り、遠ざかっていく」という情景から個々に表現したいイメージを持ち、グループで合わせていくものにしようと考えた。導入として映画音楽「ジョーズ」のテーマを鑑賞し、強弱や速さが変化することで「近づく」「遠ざかる」という様子が効果的に表現されていることを学習し、それを生かして、船の情景を表す音楽の創作に取り組みさせた。グループでドローン（マリンバ）、伴奏（マリンバ）、主旋律（鍵盤ハーモニカ）、飾り（グロッケン）、パーカッション（シンバル）といった表現する役割を分担させ、それぞれの場面は4拍8小節とした。また、使う音は黒鍵5音を基本として、調性が不安定にならないようにした。

創作の授業実践を通して、創作の活動は生徒が音楽を形づくっている要素に気づき、その働きをより深く知覚・感受することができる実感した。今後に向けて、生徒一人一人の思いや意図を丁寧に拾い上げ、表現できるよう適切な支援をしていくために、創作の授業に積極的に取り組んでいきたいと締め括った。

◆ 研修会 ◆ 第2部 講演 「今後の中学校音楽科について」

奈良教育大学 教授 理事・副学長 宮下 俊也 先生



○学習指導要領改訂のポイント

学校教育のよさをさらに深化させることを目指し、「学校教育を通じてどのような力を育むのか」を明確にして育成する。「アクティブ・ラーニング」の視点は、知識が生きて働くものとして習得され、必要な力が身に付いていくことを目指すものである。知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための学習課程の質的改善を行う。

○学習指導要領改訂を視野に入れて取り組んでいただきたいこと

1. 「音楽を学ぶ意味」を学習と関連付けて理解させる。
 - ・個人の幸せのため + 社会の幸せのため
 - =音楽を学ぶことによって、社会・文化創造の担い手になる。
2. 感性を働かせて、考え、対話し、音楽に対する自分の考えを持たせる。
 - ・感性≠受動的
 - ・音楽で感じること
 - 感性=積極的・能動的
 - =感じたこと、見つけたこと、価値
 - 感性=価値判断に関わるもの
 - =解が1つではないものの典型
3. アクティブ・ラーニング≠アクティビティ
 - ・深い学び
 - ・対話的な学び
 - ・主体的な学び
4. 知識・技能が活用できるものかどうかを吟味し、活用させる。
 - ・知識・技能は、切り離されたその場限りのものではない。
 - ・学習課程で習得し、次の学習課程に活かされ、絶えず更新されていくもの。

<まとめ>

音楽科で習得した知識・技能を活用し、絶えず更新されていくと、それはやがて個人の幸せと、社会・文化創造に貢献できる人材として発揮される。そうすると、中学校音楽科は「社会に開かれた教育」として存在意義を持つ。

函館・道南大会《小・中学校部会・高等学校部会大会》の概要

- ◆大会主題 「ひびきあい つながり・ひろがる 音楽のメッセージ」
- ◆日程 平成28年11月1日(火)・2日(水)
- ◆会場 函館市民会館 北海道函館西高等学校 函館市立亀田中学校 函館市立金堀小学校

○第1日目 中学校部会 テーマ「喜びを実感できる 音楽表現や鑑賞の深まりをめざして」 会場：函館市立亀田中学校

<音楽集会> 8:45~9:10 場所:体育館
発表校:函館市立亀田中学校 合唱実行委員による生徒主体の音楽集会を公開します。

<公開授業I> 9:20~10:10 研究協議 11:25~12:25

会場	学校名	題材名	授業者	助言者
【A】 美術室	七飯町立七飯中学校 (第3学年 歌唱・鑑賞)	雅楽の多様な表現に親しみ響きを味わおう	佐藤 圭佑	北海道教育大学岩見沢校 教授 尾藤 弥生
【B】 音楽室	函館市立宇賀の浦中学校 (第2学年 歌唱)	日本の美しい情景を表す歌を、曲にふさわしい音楽表現の工夫をして歌おう	五島 明子	北海道教育厅オホーツク教育局 教育支援課義務教育支援班 指導主事 坂見 明信

<公開授業II> 10:25~11:15 研究協議 11:25~12:25

会場	学校名	題材名	授業者	助言者
【C】 視聴覚室	函館市立恵山中学校 (第3学年 創作・器楽)	箏の音色と音階を生かして、まとまりのある音楽をつくって演奏しよう	小川 貴子	北海道教育厅旭川教育局 教育支援課義務教育指導班 指導主事 藤谷 宏一
【D】 体育館	江差町立江差中学校 (第1学年 歌唱)	江差追分の発声や節の特徴を生かして歌おう	西山 裕恵	新潟大学 教授 伊野 義博
【E】 美術室	函館市立宇賀の浦中学校 (第3学年 鑑賞)	登場人物の音楽表現などを手がかりに、オペラのよさや美しさを味わって鑑賞しよう	近藤 基子	函館市教育委員会 学校教育部教育指導課 指導主事 佐藤 大輔

<記念演奏I> 15:10~16:30 会場:函館市民会館 大ホール
函館・道南の中学生による オペラ「アイダ」(作曲:ヴェルディ) *全4幕より抜粋しての演奏

○第2日目 全体会 9:15~12:20 会場:函館市民会館 大ホール
開会行事・研究概要の説明・全体講評・記念演奏II「道南・函館の音楽」・閉会行事

平成28年度研究大会案内

- 10月27日(木)・28日(金) 九州音楽教育研究大会 鹿児島大会(鹿児島市)
- 10月28日(金) 東北音楽教育研究大会 岩手大会(盛岡市)
- 11月11日(金) 関東音楽教育研究会 埼玉大会(所沢市)
- 11月11日(金) 近畿音楽教育研究大会 滋賀大会(大津市・草津市・栗東市・守山市)
- 11月11日(金) 中国・四国音楽教育研究大会 鳥取大会(倉吉市)

Information

全日音研中学校部会ホームページも是非ご覧ください。 <http://zennichionken-jhs.jp/>